

診療科(講座)紹介

URL <http://www.fmu.ac.jp/home/ns/index.html>

- 1) 脳腫瘍や脳血管障害の外科治療を中心に、頭蓋底外科、神経内視鏡手術、脳血管内治療など最新の治療を実践し、脳神経外科で扱う全ての疾患を対象として24時間体制で診療にあたっています。
- 2) 実際の臨床に還元される研究をモットーに、クモ膜下出血後の脳槽灌流療法の開発、三次元CT脳血管撮影の臨床応用、運動誘発電位を中心とした各種術中モニタリング法の開発、脳腫瘍の遺伝子解析など、世界レベルの研究を行なっています。
- 3) 主治医・チーフレジデント制を採用し、総合的な判断力・応用力と各種脳神経外科手術手技を身につけられるようなシステムを取っています。専門医試験の合格率は100%です。

指導医(スタッフ)紹介



部長(教授)
齋藤 清

愛知県立旭丘高等学校卒業
昭和55年 名古屋大学医学部卒業
臨床専門分野
1) 頭蓋底外科
2) 脳腫瘍の外科
研究分野
1) 脳神経外科手術の開発
2) 神経線維腫症2型

学会活動

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1) 日本脳神経外科学会 | 10) 日本神経内視鏡学会 |
| 2) 日本脳神経外科コンgres | 11) 日本小児神経外科学会 |
| 3) 日本頭蓋底外科学会(理事) | 12) 日本神経外傷学会 |
| 4) 日本頭頸部腫瘍学会 | 13) 日本脳循環代謝学会 |
| 5) 日本脳下垂体腫瘍学会(理事) | 14) 日本脳腫瘍病理学会 |
| 6) 日本内分泌学会 | 15) 日本コンピュータ外科学会 |
| 7) 日本脳卒中学会 | 16) 日本脊髄外科学会 |
| 8) 日本脳卒中の外科学会 | 17) 日本定位・機能神経外科学会 |
| 9) 微小脳神経外科解剖セミナー(世話人) | 18) 日本レクリングハウゼン病学会(評議員) |



副部長(准教授)
佐久間 潤

埼玉県立浦和高等学校卒業
平成2年 福島県立医科大学卒業
臨床専門分野
1) 脳血管障害
2) 小児脳神経外科
3) 神経内視鏡手術
研究分野
1) 術中電気生理学的モニタリング
2) 低出生体重児の水頭症管理



助教 市川 優寛

愛知県立豊橋南高等学校卒業
平成9年 筑波大学医学専門学群卒業
臨床専門分野
1) 脳神経外科一般
2) 機能的脳神経外科
3) 脳神経外科救急
研究分野
1) 神経再生



講師 渡邊 督

愛知県私立東海高等学校卒業
平成8年 名古屋大学医学部卒業
臨床専門分野
1) 神経内視鏡手術
2) 脳神経外科一般
研究分野
1) 頭蓋底腫瘍、脳内腫瘍に対する神経内視鏡手術方法の開発



助手 伊藤 英治

愛知県立岡崎高等学校卒業
平成12年 産業医科大学卒業
臨床専門分野
1) 脳神経外科一般
2) 頭蓋底外科
研究分野
1) 手術ナビゲーション



助教(学内講師)
佐藤 拓

福島県立福島高等学校卒業
平成10年 福島県立医科大学卒業
臨床専門分野
1) 脳神経外科一般
2) 脳血管障害
研究分野
1) 脳血管攣縮に関する研究



助教 粕谷 泰道

茨城県立水戸第一高等学校卒業
平成14年 福島県立医科大学卒業
臨床専門分野
1) 脳神経外科一般
2) 脳血管障害
研究分野
1) 画像診断と治療

後期研修(専門医養成コース)プログラム

| | 修得すべき手技や手術経験目標数など |
|---------------|--|
| 1年次 (卒後3年) | 脳神経外科疾患の特殊性を理解し、手術計画を立てるとともに周術期管理を行う。 指導医の下で腰椎穿刺、脳血管造影を行う。 指導医の下で穿頭術(脳室ドレナージ、慢性硬膜下血腫)や脳室腹腔短絡術を行う。 経験到達目標:術者として10例、担当医として50例 |
| 2年次 | 術中に電気生理学的モニタリングを施行する。 指導医の下で開頭術の助手、急性硬膜外血腫や急性硬膜下血腫の外傷手術を行う。 指導医の下で頭蓋形成術を施行する。 経験到達目標:術者として20例、担当医として50例 |
| 3年次 | 指導医の下で顕微鏡手術のアシスタントを行う。 指導医の下で開頭血腫除去術、表在性腫瘍摘出術を行う。 経験到達目標:術者として30例、担当医として50例 |
| 4年次 | チーフレジデントとして病棟管理を行う。 術式・手術前後の説明を含めた手術患者のマネジメントを行う。 術者として基本的な開頭術を行う。 指導医の下で脳動脈瘤クリッピング術を行う。 経験到達目標:術者として50例、担当医として50例 |

であること。

日本脳神経外科学会認定の専門医のもとで通算4年以上所定の訓練場所で訓練を経たものであること。(この間少なくとも3年間は脳神経外科の臨床に専従するものとする)

後期研修協力病院

| | 関連病院名 | 所在地 | 指導医名 | 職名 |
|---|-----------|------|-------|----------------------------|
| 1 | 南東北福島病院 | 福島市 | 浅利 潤 | 理事長特別補佐 兼執行本部長・ 臨床教授 |
| 2 | 柘記念病院 | 二本松市 | 太田 守 | 院長・臨床教授 |
| 3 | 福島赤十字病院 | 福島市 | 渡部 洋一 | 部長・臨床教授 |
| 4 | 太田西ノ内病院 | 郡山市 | 川上 雅久 | 部長 |
| 5 | 公立藤田総合病院 | 国見町 | 佐藤 昌宏 | 副院長 |
| 6 | 星総合病院 | 郡山市 | 後藤 健 | 部長 |
| 7 | 南相馬市立総合病院 | 南相馬市 | 及川 友好 | 副院長 |
| 8 | 寿泉堂総合総合病院 | 郡山市 | 紺野 豊 | 部長 |

大学院・留学について

希望者は大学院に進学し、学位取得に向けた研究を行う。5年次以降に後期専門医(subspeciality)教育を受け、希望に応じて国内及び海外留学を選択できる。

専門医受験資格のために必要とされる技能・手技目標

日本脳神経外科学会専門医の受験資格として以下の要件が必要である。

- 1) 専門医取得に必要となる症例・手術件数
研修記録帳(データファイル)に研修記録および研修到達目標を記入する。研修症例は以下であること。
脳動脈瘤・脳動静脈奇形 : 20例以上
脳腫瘍 : 20例以上
外傷・奇形・機能的疾患・脊髄・脊椎 : 20例以上
- 2) 最短取得年数
初期研修終了後4年以降
- 3) 出願資格
少なくとも4年間以上日本脳神経外科学会の正会員

指導医からのメッセージ

脳神経外科医として必要な基礎的知識や技能を身につけるだけでなく、患者さんを診療していく上での基本的な心構えや、広い視野にたった判断力と洞察力および社会人としての常識を身につけてほしい。



カンファランス